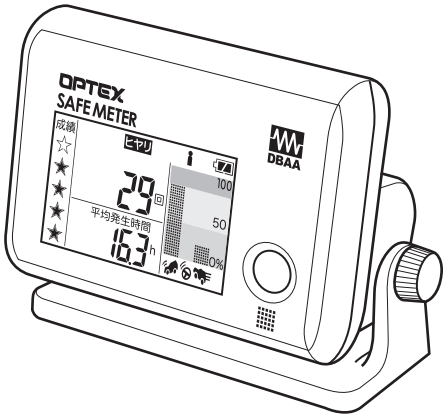
セーフメーター

OSM-201 取扱説明書



- この度はセーフメーター OSM-201をお買い上げいただきましてありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みの上、正しく設置し、ご使用ください。
- この取扱説明書をお読みになったあとは、車検証と併せて、いつでも見ることができるところ(自動車のグローブボックスなど)に大切に保管してください。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

目次

1 はじめに……3
- 1-1. 梱包内容の確認……3
- 1-2. 本製品について……3
- 1-3. 安全上のご注意……4
- 1-4. 本体各部の名称……8

2 設置と初期設定……9
- 2-1. 電池の取り付け……9
- 2-2. 本体の設置……10
- 2-3. モードの選択……11
- 2-4. 初期設定……12
- 2-5. 本体の動作……13

3 専用モードでの使用……14
- 3-1. 画面構成……14
- 3-2. スムーズ画面……14
- 3-3. ヒヤリ画面……16
- 3-4. 急ぎ運転アラーム……17

4 共用モードでの使用……18
- 4-1. 画面構成……18
- 4-2. スムーズ画面……19
- 4-3. ヒヤリ画面……21
- 4-4. ヒヤリ累計画面……22
- 4-5. 急ぎ運転アラーム……22

5 付録……23
- 5-1. モード切り替え……23
- 5-2. 電池について……24
- 5-3. 仕様……27
- 5-4. 困ったときは……29

1 はじめに

1-1. 梱包内容の確認

お使いになる前に、本体と付属品が揃っているか、また破損していないかお確かめください。

- 本体
- 専用電池
- 取扱説明書(本書)

1-2. 本製品について

- 本製品は、自動車のダッシュボード上に取り付け、運転状態を把握するための機器です。
- ふんわりとした「スムーズ発進・停止」を身に付け、余裕のある運転を心がけることができます。
- 同乗者がヒヤリとするような急操作を検知し、アラーム音を鳴らします。急操作を減らすことで安全運転へ導きます。
- 急ぎ傾向の運転を検出してアラーム音を鳴らします。急いでいる場合でも冷静さを取り戻すことができます。
- 自動車の利用形態に合わせて、必要な安全運転管理項目を表示します。
- 電池駆動なので小型です。また、粘着テープで固定するため工事不要で、即日運用が可能です。

DBAA

オプテックスの交通安全機器を支える技術
DBAA®(Driving Behavior Analysis Algorithm)
加速度センサから得られる情報を常時解析し、必要なものだけを的確に捉えるオプテックス独自の運転挙動解析アルゴリズムです。

※セーフメーター、DBAAはオプテックス株式会社の登録商標です。

・本製品は、安全運転を心がけていただくための指標を提供するものであり、本製品を設置することによって、直接的に事故を回避したり、事故の程度を軽減するものではありません。また、機器のアラームが発生しない状態で走行しても、事故が発生しないことを保証する製品ではありません。
万一、事故が発生した場合でも、その責任は負いかねますのでご了承ください。

・本製品は、急操作の回数を減らすことを目標としていますが、危険回避や法令順守のために必要な急操作を否定するものではありません。交通状況に応じた操作は必ず行ってください。

1-3. 安全上のご注意

この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。十分ご理解の上、本書をお読みください。

⚠ 危険　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

⚠ 警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が負傷する可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

必ず守らなければならない注意事項や制限事項、知っておくと役に立つ内容を示しています。

⃠記号は禁止を示しています。図の中には具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を示しています。図の中には具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコネクタから抜く)が描かれています。

■取り付け上の注意

危険

運転や視界を妨げる場所に設置しない

ハンドルやシフトレバー、ブレーキペダルの付近などの運転に支障をきたす場所、前後左右の視界を妨げる場所には取り付けないでください。交通事故やけがの原因になります。

エアバックの動作を妨げる場所に設置しない

エアバックが正常に動作しない恐れのある場所、動作したエアバックで本製品や部品が飛ばされる恐れのある場所には取り付けないでください。事故やけがの原因になります。また、作業をはじめる前に自動車の取扱説明書に記載されているエアバック関連の注意事項を確認してください。

警告

本製品を確実に固定する

しっかり取り付けていないと、走行中にはずれたり、落下するなど、事故やけがの原因になります。また、他の物を破損させる恐れがあります。万一落下した場合は、急停車すると事故の原因になりますので、慌てずに周囲を確認してから安全な場所に停車してください。

電池は専用品を使用する

専用品以外の電池を使用すると、液漏れ、発熱、破裂、発火する恐れがあります。

改造や分解をしない

本体や専用電池の分解、改造は危険ですのでおやめください。火災や感電の原因になります。

■ ご使用上の注意

危険

運転中に操作しない
走行中の操作は、前方不注意による事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。

走行中に画面を注視しない
走行中に液晶表示を注視しないでください。前方不注意による事故の原因になります。

警告

本製品を濡らさない、濡れた手で操作しない
感電や故障の原因になります。本製品は防水仕様ではありません。水滴などがかかったときは、すぐに吸水性のある柔らかい布で拭いてください。

本製品に強い衝撃を与えない
走行中にはずれたり、落下するなど、事故やけがの原因になります。また、他の物を破損させる恐れがあります。

火を近づけたり、火の中に投げ込まない
電池が破裂し非常に危険であるばかりか、火災やけがの原因になります。

異常なときは電池コネクタをはずす。
万一煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態が起こったときは、すぐに安全な場所に停止し、電池コネクタをはずしてください。異常状態がおさまったことを確認してから、販売店にご連絡ください。お客様自身による修理は、危険ですのでおやめください。異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因になります。

機器の温度が85℃を超える状況が想定される場合は、自動車内に放置しない
85℃を超える環境では電池が液漏れを起こす恐れがあり、火災の原因となります。

専用電池を充電しない

専用電池は絶対に充電しないでください。充電すると電池内の電解液が沸騰したり、ガスが発生し内部圧力が上昇したりして、電池を漏液、発熱、破裂、発火させる恐れがあります。また、電池に漏液や異臭があるときは、漏れた電解液に引火する恐れがありますので、すぐに火気から遠ざけてください。

■取り扱い上の注意

本体が汚れた場合は柔らかい布で乾拭きするか、中性洗剤を薄めた水で湿らせた布をよく絞って拭いてください。

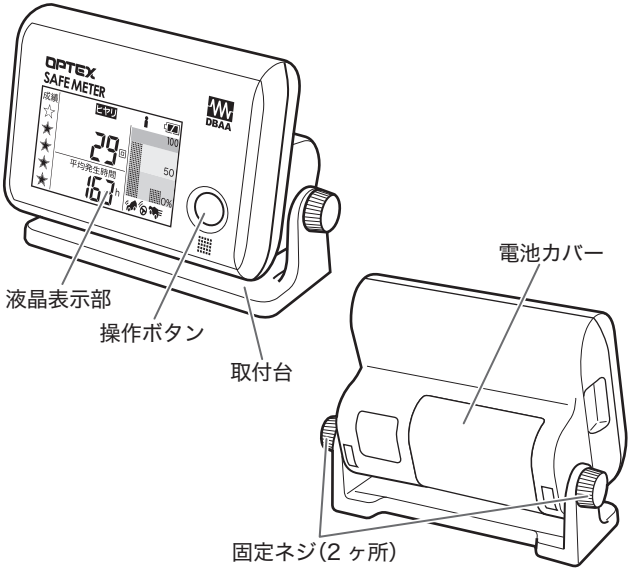
アルコール、シンナー、ベンジンの引火性溶剤は使用しないでください。火災の原因になります。

■その他の注意

電池の廃棄は、自治体の指示に従ってください。

専用電池を航空輸送する場合は、一定の要件を満たす必要があります。詳細は輸送業者にご相談ください。

1-4. 本体各部の名称



2 設置と初期設定

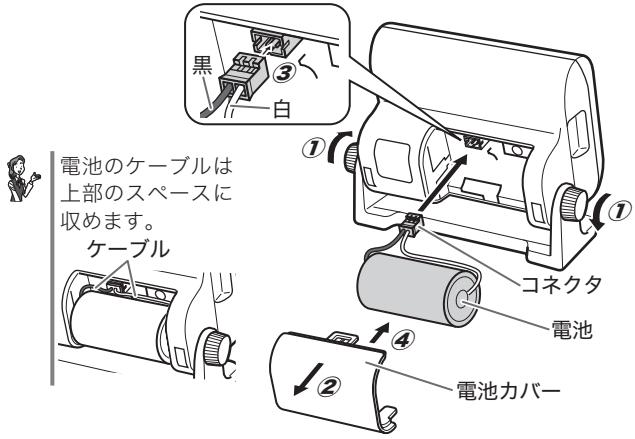
2-1. 電池の取り付け

① 取付台が自由に可動するように、本体両側面の固定ネジを緩めます。

② 本体裏面の電池カバーを指でつまみ、取りはずします。

③ 電池のコネクタを本体に挿します。

④ 電池カバーを取り付けます。

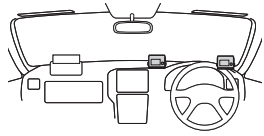


⚠ 注意 電池の極性を間違えると、動作しないばかりか、故障や発火の原因になりますので、注意してください。

2-2. 本体の設置

① 次のポイントを参考にして、本体の取り付け位置を決定します。

- 運転者の視界の妨げになっていないか
- エアバッグの動作に支障がないか
- 画面が見やすいか、日光の反射で眩しくないか
- ボタンの操作ができるか
- 固定ネジを回すことができるか



② 本体を取り付ける位置を乾いた布などで拭き、油分や水分を取り除きます。

③ 取付台の両面テープをはがし、取り付け位置にしっかりと貼り付けます。

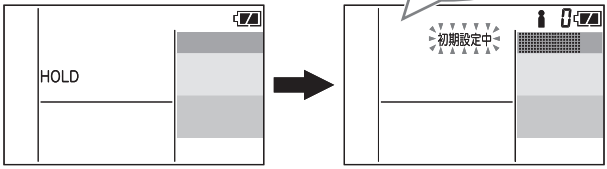
設置してからしばらくは、両面テープの接着力が弱いことがあります。

④ 画面が見やすいように本体の角度を調整し、本体両側面の固定ネジを締め付けます。

固定ネジは確実に締め付けないと、走行中に緩むことがあります。
定期的に固定ネジの緩みがないかを確認してください。

⑤ 操作ボタンを約2秒間押します。

「ピッピッ」と鳴り、「初期設定中」の文字が点滅し、HOLDが解除されます。



HOLDを解除してから本体の角度を変更すると、正しく検知しないことがあります。

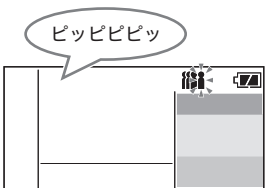
2-3. モードの選択

利用シーンに合わせて、適切なモードを選択してください。

● 1人の運転者が使用する場合
⇒専用モード ·····モードの切り替えは必要ありません。
「2-4.初期設定」（➡12ページ）へ

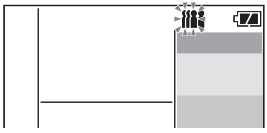
● 複数の運転者が使用する場合
⇒共用モード ·····次の手順でモードを切り替えます。

① 操作ボタンを約5秒間押します。
「ピッピピピッ」と鳴り、「モード切替画面」に切り替わります。
が点滅します。

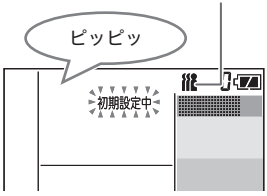


- 選択中のモードのアイコンが点滅します。
- 「モード切替画面」で10秒間操作をしないと、元の画面に戻ります。

② 操作ボタンを1回押します。
が点滅します。



③ 操作ボタンを約2秒間押します。
「ピッピッ」と鳴り、共用モードに確定されます。指を離すと、「初期設定画面」に戻ります。

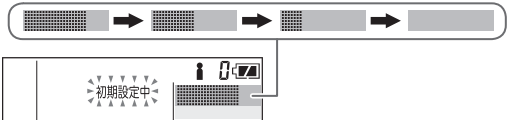


2-4. 初期設定

本製品を使用する前に設置方向を本体に記憶させます。普段通り自動車を走行させるだけで設定ができます。

① 普段通りに自動車を走行させます。

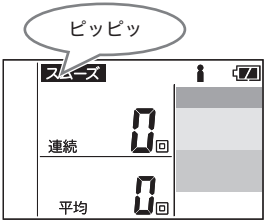
- 市街地では、通常1時間程度走行すると、初期設定が完了します。
- 初期設定の進行状況は、初期設定中表示の右のバーで確認できます。消灯すると、初期設定は完了です。



- 初期設定の時間は走行状況によって変わり、発進・停止が多いほど早く完了します。
- 初期設定が完了するまでに自動車のエンジンを切っても問題ありません。

② 初期設定が完了すると、「ピッピッ」と鳴り、「スムーズ画面」に切り替わります。

（右の画面は専用モードの場合です。）



2-5. 本体の動作

■ 電源の入/切について

・自動車を走行させると振動を検知し、自動で本体の電源が入ります。
・約3分間振動を検知しなければ、自動で本体の電源が切れます。
・操作ボタンを押しても、本体の電源が入ります。

■ バックライトの点灯について

周囲が暗いときのみ、次のタイミングでバックライトが点灯または点滅します。

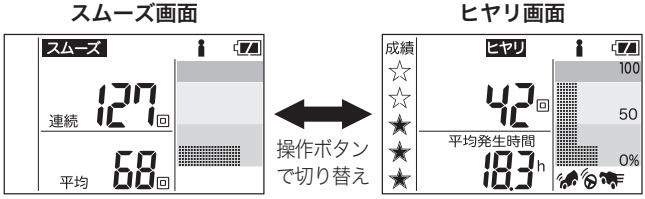
・ボタン操作時：5秒間点灯
・ヒヤリカウント時/スムーズカウントリセット時：5秒間点灯
・急ぎ運転アラーム時：5秒間点滅

電源が入ったときと周囲が明るいときは、点灯しません。

3 専用モードでの使用

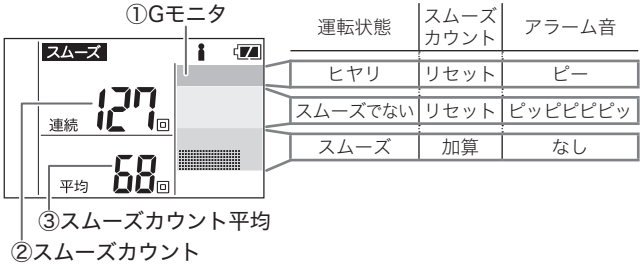
3-1. 画面構成

専用モードは、「スムーズ画面」と「ヒヤリ画面」の2画面で構成されています。
操作ボタンを押すと、画面が切り替わります。



3-2. スムーズ画面

「スムーズ画面」は、運転状態の把握と、ふんわりとしたスムーズ発進・停止を身に付けることを目的とした画面です。



運転状態	スムーズカウント	アラーム音
ヒヤリ	リセット	ピー
スムーズでない	リセット	ピッピピピピッ
スムーズ	加算	なし

①Gモニタ

運転状態をリアルタイムに表示します。

赤色の範囲 ····同乗者がヒヤリとするような急操作であることを示します。
走行中にこの範囲になると、「ピー」というアラーム音が鳴り、加算されていたスムーズカウントが0にリセットされます。

黄色の範囲 ····運転がスムーズでないことを示します。
この範囲で発進・停止を行うと、加算されていたスムーズカウントが0にリセットされます。

青色の範囲 ····運転がスムーズであることを示します。
この範囲で発進・停止を行うと、スムーズカウントが1ずつ加算されていきます。

発進時に瞬間的に黄色の範囲を超えた場合や、走行中に瞬間的に赤色の範囲を超えた場合など、瞬間的な運転操作ではリセットされません。

②スムーズカウント

スムーズ発進・停止の連続回数を表示します。
スムーズカウントが0にリセットされないよう、スムーズな発進・停止と余裕のある走行を心がけてください。

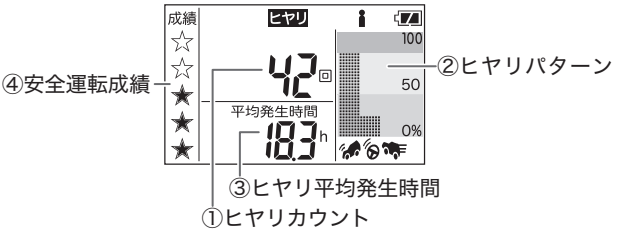
スムーズ発進は、確実に停止した後の発進時にカウントします。スムーズ停止は、信号待ちなど、自動車が確実に停止した際にカウントします。
次の場合では、カウントしないことがあります。
・一旦停止など、停止時間が短いとき
・クリープ現象程度で走行したとき
・ディーゼル車など、自動車の振動が大きいとき
また、非常にスムーズな走行の場合、停止するまでにカウントすることがあります。

③スムーズカウント平均

スムーズ発進・停止の平均連続回数を表示します。
スムーズ発進・停止をどの程度行えているかが分かります。
※一度もスムーズカウントがリセットされていないときは、「－－－」と表示されます。

3-3. ヒヤリ画面

「ヒヤリ画面」は、急操作を起こした結果を確認するための画面です。



①ヒヤリカウント

急操作を検知すると「ピー」というアラーム音が鳴り、ヒヤリカウントが1ずつ加算されます。

②ヒヤリパターン

急操作を急ブレーキ( )・急ハンドル( )・急アクセル( )の種類別に割合で表示します。

③ヒヤリ平均発生時間

急操作を発生させる平均的な頻度を表示します。
この時間が長いほど、急操作の少ないゆとりのある運転であることを示します。

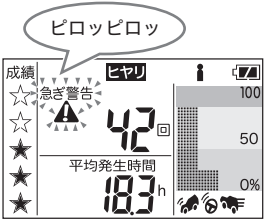
④安全運転成績

長期間の急操作発生頻度によって、運転を5段階に評価します。

★★★★★	超優良運転	余裕のあるゆったりとした運転が身に付いています。
★★★★	優良運転	穏やかな運転を心がけているようです。
★★★	標準リスク運転	余裕のある運転を心がけていますが、稀に急操作をしてしまうようです。
★★	要注意運転	もう少し気持ちに余裕をもって運転しましょう。
★	高リスク運転	道路や交通状況に合わせた危険予測運転をしましょう。

3-4. 急ぎ運転アラーム

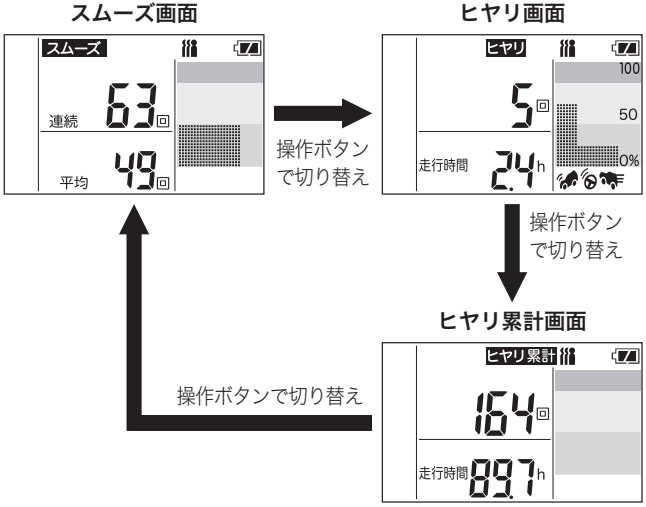
普段の運転と比較して急ぎ運転の傾向がある場合に、「ピロッピロッ」というアラーム音と警告表示で注意喚起します。
急ぎ運転傾向が解消されると、警告表示が消えます。
急ぎ運転アラームは、どの画面でも動作します。



4 共用モードでの使用

4-1. 画面構成

共用モードは、「スムーズ画面」、「ヒヤリ画面」、および「ヒヤリ累計画面」の3画面で構成されています。
操作ボタンを押すと、画面が切り替わります。

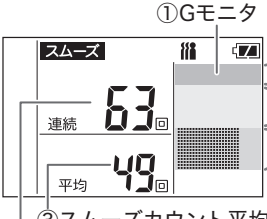


■各指標のクリアについて

運転記録表を活用した運用に適応するため、累計以外の各指標(スムーズカウント、スムーズカウント平均、ヒヤリカウント、走行時間)は0にクリアできるようになっています。
運行前に操作ボタンを約2秒間押し、各指標を0にクリアしてから走行してください。

4-2. スムーズ画面

「スムーズ画面」は、運転状態の把握と、ふんわりとしたスムーズ発進・停止を身に付けることを目的とした画面です。



運転状態	スムーズカウント	アラーム音
ヒヤリ	リセット	ピー
スムーズでない	リセット	ピッピピピピッ
スムーズ	加算	なし

①Gモニタ

運転状態をリアルタイムに表示します。

赤色の範囲 ····同乗者がヒヤリとするような急操作であることを示します。
走行中にこの範囲になると、「ピー」というアラーム音が鳴り、加算されていたスムーズカウントが0にリセットされます。

黄色の範囲 ····運転がスムーズでないことを示します。
この範囲で発進・停止を行うと、加算されていたスムーズカウントが0にリセットされます。

青色の範囲 ····運転がスムーズであることを示します。
この範囲で発進・停止を行うと、スムーズカウントが1ずつ加算されていきます。

発進時に瞬間的に黄色の範囲を超えた場合や、走行中に瞬間的に赤色の範囲を超えた場合など、瞬間的な運転操作ではリセットされません。

②スムーズカウント

スムーズ発進・停止の連続回数を表示します。
スムーズカウントが0にリセットされないよう、スムーズな発進・停止と余裕のある走行を心がけてください。

スムーズ発進は、確実に停止した後の発進時にカウントします。スムーズ停止は、信号待ちなど、自動車が確実に停止した際にカウントします。
次の場合では、カウントしないことがあります。
・一旦停止など、停止時間が短いとき
・クリープ現象程度で走行したとき
・ディーゼル車など、自動車の振動が大きいとき
また、非常にスムーズな走行の場合、停止するまでにカウントすることがあります。

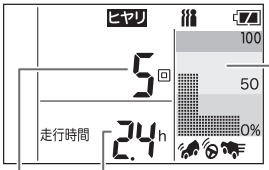
③スムーズカウント平均

スムーズ発進・停止の平均連続回数を表示します。
スムーズ発進・停止をどの程度行えているかが分かります。
※一度もスムーズカウントがリセットされていないときは、「－－－」と表示されます。

操作ボタンを約2秒間押すと、スムーズカウント、スムーズカウント平均が0にクリアされます。
また、ヒヤリカウント、走行時間も同時に0にクリアされます。

4-3. ヒヤリ画面

「ヒヤリ画面」は、急操作を起こした結果を確認するための画面です。運行終了時、運転管理表などにヒヤリカウントの回数と走行時間を記入します。



①ヒヤリカウント

急操作を検知すると「ピー」というアラーム音が鳴り、ヒヤリカウントが1ずつ加算されます。

②ヒヤリパターン

急操作を急ブレーキ( )・急ハンドル( )・急アクセル( )の種類別に割合で表示します。

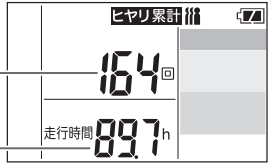
③走行時間

クリアしてからの走行時間を表示します。
ヒヤリカウント数と合わせて走行時間を記録することで、急操作を発生させる頻度を計算できます。

操作ボタンを約2秒間押すと、ヒヤリカウント、走行時間が0にクリアされます。
また、スムーズカウント、スムーズカウント平均も同時に0にクリアされます。

4-4. ヒヤリ累計画面

「ヒヤリ累計画面」は、使用開始からのヒヤリカウントと走行時間の累計を表示する画面です。



①累計ヒヤリカウント

使用開始からのヒヤリカウントの累計を表示します。
運転管理表に記載されたヒヤリカウントの検算に利用できます。

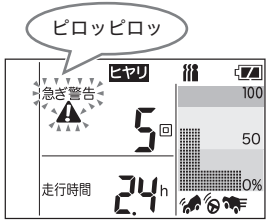
②累計走行時間

使用開始からの走行時間の累計を表示します。
運転管理表に記載された走行時間の検算にに利用できます。

累計ヒヤリカウント、累計走行時間はクリアできません。

4-5. 急ぎ運転アラーム

普段の運転と比較して急ぎ運転の傾向がある場合に、「ピロッピロッ」というアラーム音と警告表示で注意喚起します。
急ぎ運転傾向が解消されると、警告表示が消えます。
急ぎ運転アラームは、どの画面でも動作します。

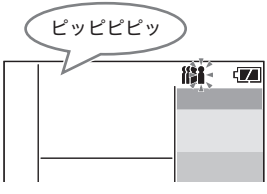


5 付録

5-1. モード切り替え

1人で利用していた自動車が2人以上での共用になった場合や、共用で利用していた自動車の人数が減り1人で利用することになった場合など、利用状況が変わったときは、次の手順でモードを切り替えます。

① 操作ボタンを約5秒間押します。
「ピッピピピッ」と鳴り、「モード切替画面」に切り替わります。

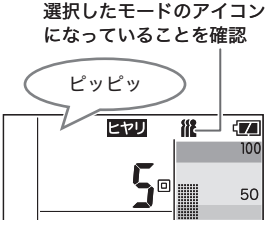


「モード切替画面」で10秒間操作をしないと、元の画面に戻ります。

② 操作ボタンを押し、選択したいモードのアイコンが点滅している状態に切り替えます。

共用モードから専用モードに切り替えた場合は、スムーズカウントとスムーズカウント平均が0にクリアされます。

③ 操作ボタンを約2秒間押します。
「ピッピッ」と鳴り、モードが確定されます。指を離すと、「スムーズ画面」または「ヒヤリ画面」に戻ります。



5-2. 電池について

電池を交換する場合は、必ず専用リチウム電池(弊社型番：88605)を使用してください。
電池のご注文は、お買上げ店または弊社までご連絡ください。

> ⚠ 注意　専用電池以外は絶対に使用しないでください。破損や火災等の原因になります。

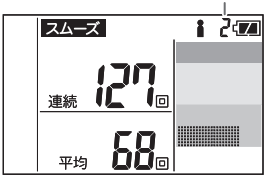
■ 電池残量表示

液晶表示部に電池残量が表示されます。

表示	電池残量	説明
	100%	電池残量が十分あります。
	50%	電池残量が約半分あります。
	25%	新しい電池を準備してください。
	10%	使用限界です。電池を交換してください。

■ 電池挿抜回数表示

電池の交換回数を初期設定中と画面切替時の5秒間表示します。
必要以上に電池を抜き差ししていないかも確認できます。



■ 電池の交換方法

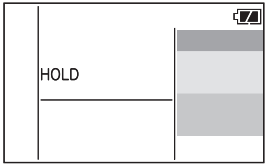
① 本体両側面の固定ネジをはずし、取付台から本体を取りはずします。

電池残量が10%以上ある状態では、本体を取りはずす際にカウントしたり、アラーム音が鳴る場合があります。

② 本体裏面の電池カバーを指でつまみ、取りはずします。

③ 古い電池のコネクタを取りはずし、新しい電池のコネクタを本体に差し込みます。

コネクタを差し込むと、誤検知防止のため、右のような画面が表示されます。



⚠ 注意

電池の極性を間違えると、動作しないばかりか、故障や発火の原因になりますので、注意してください。

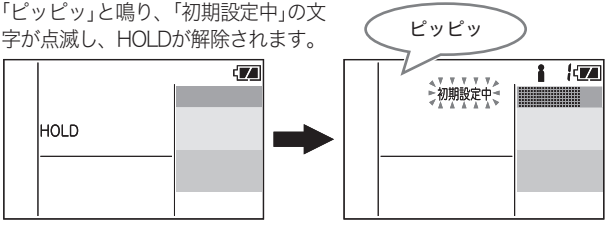
古い電池は、市町村の指示に従って廃棄してください。

④ 本体を取付台にセットし、画面が見やすいように本体の角度を調整し、本体両側面の固定ネジを締め付けます。

固定ネジは確実に締め付けないと、走行中に緩むことがあります。
定期的に固定ネジの緩みがないかを確認してください。

⑤ 操作ボタンを約2秒間押します。

「ピッピッ」と鳴り、「初期設定中」の文字が点滅し、HOLDが解除されます。

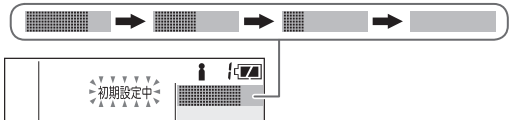


HOLDを解除してから本体の角度を変更すると、正しく検知しないことがあります。

⑥ 普段通りに自動車を走行させます。

本体が自動で初期設定を行います。

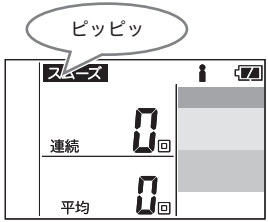
・市街地では、通常1時間程度走行すると、初期設定が完了します。
・初期設定の進行状況は、初期設定中表示の右のバーで確認できます。消灯すると、初期設定は完了です。



・初期設定の時間は走行状況によって変わり、発進・停止が多いほど早く完了します。
・初期設定が完了するまでに自動車のエンジンを切っても問題ありません。

⑦ 初期設定が完了すると、「ピッピッ」と鳴り、「スムーズ画面」に切り替わります。

（右の画面は専用モードの場合です。）



・専用モード/共用モードは、電池交換前のモードになります。
・カウント数や走行時間は、電池交換前の数値が表示されます。

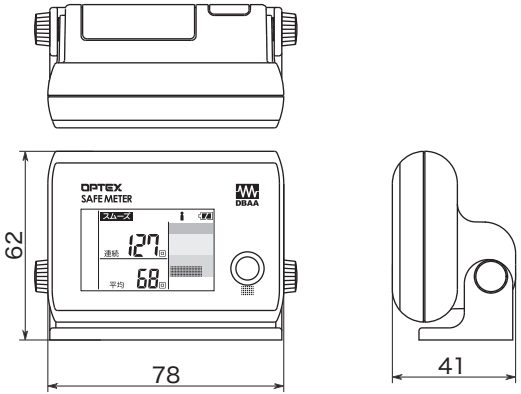
5-3. 仕様

■ 製品仕様

名称	セーフメーター（SAFE METER）		
型式	OSM-201		
設置場所	自動車内		
電池	専用リチウム電池(型番：88605)		
電池寿命 (目安値)	約1年(4時間／日 使用時) ※使用条件によって電池寿命は変化します。		
使用温度範囲	-20℃ ～ +70℃		
使用周囲湿度	10 ～ 95% RH(結露なきこと)		
保存温度範囲	-25℃ ～ +75℃		
検知部	3軸加速度センサ		
検知内容	スムーズ発進・停止、急操作(急アクセル、急ハンドル、急ブレーキ)、急ぎ運転		
液晶画面	電源入時表示		
液晶表示内容	スムーズ画面	Gモニタ、スムーズカウント、 スムーズカウント平均	
	ヒヤリ画面 (専用モード)	ヒヤリカウント、ヒヤリ平均発生時間、 ヒヤリパターン、安全運転成績	
	ヒヤリ画面 (共用モード)	ヒヤリカウント、走行時間、ヒヤリパターン	
	ヒヤリ累計画面	累積ヒヤリカウント、累積走行時間	
	共通	急ぎ運転アラーム、電池残量、電池挿抜回数、 モード、エラー（Err）	
バックライト (暗い場所のみ)	ボタン操作時、ヒヤリカウント時、 スムーズカウントリセット時		5秒間点灯
	急ぎ運転アラーム時		5秒間点滅
ブザー音	スムーズカウントリセット時		ピッピピピピッ
	ヒヤリカウント時		ピー
	急ぎ運転アラーム時		ピロッピロッ
	画面切替時(クリック)		ピッ
	カウントクリア、モード確定時(約2秒間長押し)		ピッピッ
	モード切替画面移行時(約5秒間長押し)		ピッピピピッ
寸法(W×H×D)	78mm × 62mm × 41mm（突起部分を除く）		
質量	100g		
付属品	専用電池、取扱説明書(本書)		

※本製品の仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。

■外形寸法図



（単位：mm）

5-4. 困ったときは

異常状態	原因	対処
電源が入らない	電池が消耗している	新しい専用電池と交換してください。(➡24ページ)
	自動車が停止している	自動車の振動を検知すると、自動で電源が入ります。
	走行して間もない	しばらく走行すると、振動を検知して自動で電源が入ります。
バックライトが点灯しない	明るい場所で使用している	バックライトは周囲が暗いときのみ点灯します。
初期設定が完了しない	発進・停止が少ない	市街地など発進停止が多い状況で走行してください。(停止の際はなるべく3秒以上確実に停止してください。)
画面が表示されない	電源が切れている	自動車の振動を検知すると、自動で電源が入ります。
	電池が消耗している	操作ボタンを押しても画面が表示されない場合は、電池が切れています。新しい専用電池と交換してください。(➡24ページ)
一度操作ボタンを押しても画面が切り替わらない	画面が消えていた	画面が消えている場合は、一度操作ボタンを押すと画面が表示され、もう一度押すと画面が切り替わります。
	暗い場所で操作ボタンを押した	画面が表示されてバックライトが消灯している状態では、一度操作ボタンを押すと、バックライトが点灯し、バックライトが点灯している間(5秒間)にもう一度押すと、画面が切り替わります。
カウントしやすい、またはカウントしにくい	初期設定後に本体の角度や設置場所を変えた	「電池の交換方法」(➡24ページ)に従って一度電池のコネクタを差し直し、再設置(➡10ページ)と初期設定(➡12ページ)を行ってください。
	体感との差がある	スムーズやヒヤリと感じる操作は個人によって感覚差があります。本製品では弊社が推奨する加速度でカウントするように設定しています。

異常状態	原因	対処
スムーズカウントが加算しない	確実に停止していない	短時間の停止ではカウントしません。3秒以上確実に停止してください。
	クリープ現象程度で走行した	クリープ現象程度では発進と判定しません。一定の速度まで加速してください。
	振動が大きい	振動が大きい自動車や、自動車が揺れている環境では停止と判定できず、カウントしない場合があります。
走行中にスムーズカウントが加算する	非常に滑らかな走行をしている	振動が少ない走行状態では、停止状態と判断してカウントすることがあります。
画面が薄い	画面を上側から見ている	画面を正面または下側から見るように、角度を調整してください。角度を調整した場合は、「電池の交換方法」(➡24ページ)に従って一度電池のコネクタを差し直し、再設置(➡10ページ)と初期設定(➡12ページ)を行ってください。
	低温で使用している	液晶の特性によるもので、常温になれば正常に戻ります。
画面が黒くなる	高温で使用している	液晶の特性によるもので、常温になれば正常に戻ります。
Errと表示される 例：Err 53	機器の故障です。(表示されるエラー番号は故障箇所によって異なります。)	弊社またはお買上げ店にご相談ください。

対処方法を試した上で、それでも異常が改善されない場合は、販売店または当社に点検修理を依頼してください。

メモ

OSM-201　保証書

お買い上げ日		年　　月　　日
保証期間		**お買い上げより1年間**
お客様	ご住所	〒　　TEL
	貴社名	
	ご氏名	様
お買上げ店	住所	〒　　TEL
	店名	

〈保証規定〉

I. 保証の範囲

1. 取扱説明書に記載された正常な状態で、保証期間中に万一故障を起こした場合、無償にて修理いたします。
   お買い上げ店もしくは弊社へ本書を添えてお申し付けください。
2. この保証は保証書に記載された製品について日本国内に限り適用いたします。
   This warranty is valid only for Japan.

II. 保証の条件

次に該当する故障は、保証期間中(お買上げ日より１年間)であっても実費にて修理を申し受けることがあります。

1. あやまった取り扱い、不当な修理・改造を受けた製品の故障、また故意・不注意による破傷に起因する故障。
2. 災害など不可抗力による破傷。
3. 本書に必要事項の記入が無い場合、また本書の提示が無い場合。

オプテックス株式会社
STP事業本部
本社　：〒520-0101　滋賀県大津市雄琴5丁目8番12号
TEL　：(077)579-8890
FAX　：(077)579-7120
e-mail：stp@optex.co.jp

59-1713-0 2010.03

（キリトリ線）